

## 第24回九州地方会講習会

---

### 教 育 講 演

#### 循環器領域

9:50 ~ 10:40

第2会場（中ホール・2F）

---

#### 「試練は、進化の入り口 ビジュアルEF・実践編」

座長：古川 浩二郎（琉球大学大学院医学研究科 胸部心臓血管外科学講座）

演者：渡辺 弘之（東京ベイ・浦安市川医療センター 循環器内科）

#### 消化器領域

10:45 ~ 11:35

第2会場（中ホール・2F）

---

#### 「膵癌早期発見に向けて 膵嚢胞、膵管拡張のその先に」

座長：小野 尚文（公立八女総合病院 消化器内科）

演者：松本 直樹（日本大学医学部内科学系消化器肝臓内科学分野）

# 日本超音波医学会第 35 回九州地方会学術集会

## 特 別 講 演

### 頭頸部

10:45 ~ 11:35

第3会場（イベントホール・1F）

座長：山内 盛泰（国立病院機構 九州がんセンター 頭頸科、佐賀大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

#### SL1 「頭頸部超音波の基本と最新の話題」

演者：古川 まどか（愛知医科大学耳鼻咽喉科頭頸部外科、昭和医大横浜市北部病院甲状腺センター）

### リウマチ科

13:45 ~ 14:35

第2会場（中ホール・2F）

座長：平賀 真雄（霧島リウマチ膠原病クリニック / US パートナー）

#### SL2 「リウマチ診療に活かす関節エコーの基本と実践」

演者：川尻 真也（長崎大学生命医科学域 医療人材連携教育センター／長崎大学病院 リウマチ・膠原病内科）

### 産婦人科

15:00 ~ 15:40

第3会場（イベントホール・1F）

座長：大場 隆（JCHO 熊本総合病院）

#### SL3 「変わりゆく産科合併症：超音波で切り拓く保存的治療戦略」

演者：山口 宗影（熊本大学大学院生命科学研究部 産科婦人科学 産科学寄付講座）

## 特 別 企 画

### 循環器

14:40 ~ 15:40

第1会場（大ホール・2F）

座長：福田 智子（大分大学医学部附属病院 循環器内科）  
高尾 壽美恵（社会医療法人 新古賀病院 生理機能検査室）  
コメンテーター：渡辺 弘之（東京ベイ・浦安市川医療センター 循環器内科）  
ディスカッサー：有馬 美樹（宮崎市郡医師会病院 臨床検査科）  
梅木 俊晴（佐賀大学医学部附属病院 検査部）  
木下 ゆい（熊本大学病院 中央検査部）  
余門 翼（産業医科大学病院 臨床検査・輸血部）

#### 循環器 1 「術前精査にて心機能低下を認めた一症例」

演者：峯 悠太郎（唐津赤十字病院 検査技術課）

#### 循環器 2 「急性心筋梗塞治療後の一症例」

演者：山道 圭一郎（地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館 検査部）

#### 循環器 3 「☆ EF 目合わせ☆ 悩む！心アミロイドーシス編」

演者：田中 美与（宮崎大学医学部附属病院 ハートセンター）

## ハンズオンセミナー

### 肝臓・胆膵

13:40 ~ 15:40

ハンズオン会場1（練習室1・1F）

#### HS1 「ハンズオンセミナー1」

講師：飯島 尋子（兵庫医科大学消化器内科学肝胆膵内科）  
岡庭 信司（飯田市立病院 消化器内科）

### 頭頸部

13:40 ~ 15:20

ハンズオン会場2（練習室2・1F）

#### HS2 「ハンズオンセミナー2」

講師：古川 まどか（愛知医科大学耳鼻咽喉科頭頸部外科、昭和医大横浜市北部病院甲状腺センター）

## ランチョンセミナー

### ランチョンセミナー 1

11:50 ～ 12:40

第1会場（大ホール・2F）

座長：渡辺 弘之（東京ベイ・浦安市川医療センター センター長）

#### LS1 「いつ使うの？ どう使うの？ ～ストレイン解析のすすめ～」

演者：宇宿 弘輝（熊本大学病院 循環器内科）

共催：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社

### ランチョンセミナー 2

11:50 ～ 12:40

第2会場（中ホール・2F）

#### Aplio beyond で切り拓く、新たな乳腺超音波の世界 ～日常を変える次世代画像処理 PPFP の挑戦～

座長：渡邊 良二（糸島医師会病院 副院長・乳腺センター長）

#### LS2-1 「乳腺領域における Aplio beyond の最新技術紹介」

演者：キヤノンメディカルシステムズ株式会社

#### LS2-2 「Aplio beyond の導入後使用経験」

演者：平井 良武（独立行政法人地域医療機能推進機構 久留米総合病院 臨床検査科）

共催：キヤノンメディカルシステムズ株式会社

## スイーツセミナー

### スイーツセミナー 1

9:40 ~ 10:30

第3会場（イベントホール・1F）

座長：黒松 亮子（久留米大学医学部 内科学講座 消化器内科部門／久留米大学病院 超音波診断センター 教授）

#### SS1 「奈良宣言 2023 のビジョンに基づく肝臓病診療と超音波診断技術の新展開：HCV から MASLD へのパラダイムシフト」

演者：黒田 英克（岩手医科大学医学部 内科学講座消化器内科分野 特任教授）

共催：アッヴィ合同会社

### スイーツセミナー 2

14:45 ~ 15:45

第2会場（中ホール・2F）

#### 肝疾患診療を支える非侵襲的検査のアプローチ：ELF から造影 US まで

座長：大堂 雅晴（飯塚市立病院）

#### SS2-1 「非侵襲的肝線維化評価の現在地：ELF スコアを中心に」

演者：大枝 敏（佐賀大学医学部附属病院 肝疾患センター）

#### SS2-2 「穿刺手技のための最良の画像支援 Fusion imaging with Low-MITHI」

演者：本吉 康英（長崎医療センター）

共催：シーメンスヘルスケア ダイアグノスティクス株式会社

## Young Investigator's Award

### YIA 循環器

9:05 ～ 9:40

第1会場（大ホール・2F）

座長：堀端 洋子（熊本赤十字病院 循環器内科）

審査員：澤紙 秀太（沖縄協同病院 循環器内科）  
湯浅 敏典（県民健康プラザ鹿屋医療センター）  
安田 久代（鹿児島市立病院 循環器内科）  
吉牟田 剛（長崎大学病院 循環器内科）

#### Y001 経カテーテル的大動脈弁置換術施行による左室局所ストレインの予後予測因子としての有用性の変化

龍 美玖璃<sup>1</sup>, 宇宿 弘輝<sup>1,2</sup>, 原田 美保<sup>1</sup>, 山本 紀子<sup>1</sup>, 崎田 紫織<sup>1</sup>, 森 大輔<sup>1</sup>, 尾池 史<sup>2</sup>, 田中 靖人<sup>1</sup>, 辻田 賢一<sup>2</sup>

<sup>1</sup>熊本大学病院 中央検査部, <sup>2</sup>熊本大学大学院 生命科学研究部 循環器内科

#### Y002 経胸壁心エコー図検査で弁腹部からの逆流を検出することにより僧帽弁穿孔を指摘し得た感染性心内膜炎の症例

余門 翼<sup>1</sup>, 浪崎 秀洋<sup>1</sup>, 中園 朱実<sup>1</sup>, 岩瀧 麻衣<sup>2</sup>, 尾上 武志<sup>2</sup>, 尾辻 豊<sup>3</sup>, 大石 恭久<sup>4</sup>, 片岡 雅晴<sup>2</sup>, 西村 陽介<sup>5</sup>, 山口 絢子<sup>1</sup>

<sup>1</sup>産業医科大学病院 臨床検査・輸血部, <sup>2</sup>産業医科大学 第2内科学, <sup>3</sup>萩原中央病院 循環器・心臓内科,  
<sup>4</sup>産業医科大学 先進心血管治療学, <sup>5</sup>産業医科大学 心臓血管外科

#### Y003 大動脈弁狭窄症におけるDoppler法とDisk summation法による一回拍出量の比較と重症度判定への影響

平井 元子<sup>1</sup>, 鍋嶋 洋裕<sup>1</sup>, 坂本 佳子<sup>1</sup>, 森永 崇<sup>1</sup>, 南里 享奈<sup>2</sup>, 前田 まゆみ<sup>2</sup>, 小屋松 純司<sup>2</sup>, 梅木 俊晴<sup>2</sup>, 秋吉 妙美<sup>3</sup>, 野出 孝一<sup>1</sup>

<sup>1</sup>佐賀大学医学部附属病院 循環器内科, <sup>2</sup>佐賀大学医学部附属病院 臨床検査部,  
<sup>3</sup>佐賀大学医学部附属病院 ハートセンター

### YIA 体表・総合

9:05 ～ 9:40

第2会場（中ホール・2F）

座長：吉元 和彦（熊本赤十字病院 小児外科）

審査員：大原 未希子（済生会熊本病院 中央検査部）  
成吉 昌一（MR しょうクリニック）  
崎田 靖人（医療法人松籟会河畔病院 / 福岡メディカルサポート）  
水島 靖子（久留米大学病院 超音波診断センター・臨床検査部）

#### Y004 腰部疾患既往がある患者の下肢神経症状に、超音波検査が有用であった一例 - 総腓骨神経に発生した神経鞘腫 -

石塚 光太郎<sup>1,2,3</sup>, 梶原 知巳<sup>1,2</sup>, 宮城 孝雅<sup>1,2</sup>, 櫻井 俊彰<sup>1,2</sup>, 多田 佳弘<sup>1,2,3</sup>, 寺田 京太郎<sup>1</sup>, 那須 道高<sup>1,3</sup>

<sup>1</sup>浦添総合病院 スポーツ医学診療センター, <sup>2</sup>ロクト整形外科クリニック 整形外科,  
<sup>3</sup>浦添総合病院 救命救急センター

**Y005 非専門医から専門医へつなぐ超音波検査 —緊急対応により精巣を救済した急性陰嚢症—**

江口 啓意<sup>1</sup>, 小野 友輔<sup>2</sup>

<sup>1</sup>北九州市立八幡病院 小児総合医療センター, <sup>2</sup>北九州市立八幡病院 小児臨床超音波センター

**Y006 臨床実習における超音波検査教育体制の整備とその効果 —臨床実習コーディネーターの立場から—**

井上 香<sup>1,2</sup>, 溝口 ゆかり<sup>1</sup>, 八板 静香<sup>1</sup>, 星野 有紀<sup>1</sup>, 野下 祥太郎<sup>3</sup>, 小平 俊一<sup>3</sup>, 磯田 広史<sup>2</sup>, 大枝 敏<sup>2,4</sup>, 高橋 宏和<sup>2,3</sup>, 山下 駿<sup>1</sup>

<sup>1</sup>佐賀大学医学部 地域医療科学教育研究センター, <sup>2</sup>佐賀大学医学部附属病院 肝疾患センター,

<sup>3</sup>佐賀大学医学部 肝臓・糖尿病・内分泌内科, <sup>4</sup>佐賀大学医学部附属病院 検査部

**Image of the Year Award for Sonographers**

**Image of the Year Award for Sonographers 9:45 ~ 10:15 第1会場 (大ホール・2F)**

座長：田代 英樹 (社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 循環器内科)

審査員：梅田 ひろみ (平成紫川会 小倉記念病院 検査技師部)

田中 美与 (宮崎大学医学部附属病院 ハートセンター)

倉重 康彦 (一般社団法人 朝倉医師会病院 臨床検査科)

渡邊 望 (宮崎大学医学部機能制御学講座 循環動態生理学分野)

**I001 多量の心嚢液とともに出現する左房内異常構造物**

金重 貴美香<sup>1</sup>, 堀端 洋子<sup>2</sup>, 加藤 沙織<sup>1</sup>, 兼崎 太輔<sup>1</sup>, 石崎 留美<sup>1</sup>, 山崎 卓<sup>1</sup>, 坂口 健<sup>3</sup>, 小出 俊一<sup>1,2</sup>, 角田 隆輔<sup>2</sup>

<sup>1</sup>熊本赤十字病院 検査部生理検査センター, <sup>2</sup>熊本赤十字病院 循環器内科, <sup>3</sup>熊本赤十字病院 心臓血管外科

**I002 心窩部アプローチが悪性所見の描出に有用であった右房血管肉腫の一例**

前田 まゆみ<sup>1</sup>, 鍋嶋 洋裕<sup>2</sup>, 梅木 俊晴<sup>1</sup>, 於保 恵<sup>1</sup>, 大枝 敏<sup>1</sup>, 蒲原 啓司<sup>3</sup>, 副島 英伸<sup>1</sup>

<sup>1</sup>佐賀大学医学部附属病院 検査部, <sup>2</sup>佐賀大学医学部附属病院 循環器内科,

<sup>3</sup>佐賀大学医学部附属病院 心臓血管外科

**I003 血栓の影に潜む動静脈瘻：外頸静脈内ポリープ様血栓に拍動性血流を捉えた一例**

平賀 真雄

吉玉リウマチ・内科クリニック/USパートナー 超音波室

## 新人賞

### 新人賞

9:05 ～ 9:30

第3会場（イベントホール・1F）

座長：野間 栄次郎（福岡大学筑紫病院 消化器内科）

審査員：熊谷 公太郎（鹿児島大学病院 消化器センター 消化器内科）  
小田 耕平（鹿児島大学病院 肝疾患相談センター）  
戸原 恵二（戸原内科）  
上田 真（那覇市立病院）

#### 新001 超音波検査が診断、治療効果判定に有用であった脾腫瘍の一例

乗田 美沙<sup>1</sup>，井上 香<sup>2</sup>，田中 賢一<sup>1</sup>，桑代 卓也<sup>1</sup>，吉村 茂修<sup>3</sup>，大枝 敏<sup>2</sup>，高橋 宏和<sup>1,2,3</sup>

<sup>1</sup>佐賀大学医学部附属病院 肝臓・糖尿病・内分泌内科，<sup>2</sup>佐賀大学医学部附属病院 肝疾患センター，  
<sup>3</sup>佐賀大学医学部附属病院 胆膵先進医療学講座

#### 新002 気腫性胆嚢炎により門脈ガス血症を呈した2症例に学ぶ— 気づくことから始まった超音波診断の一步 —

福元 彩乃<sup>1</sup>，塩屋 晋吾<sup>2</sup>，内倉 舞咲<sup>1</sup>，下野 隼<sup>1</sup>，山崎 涼平<sup>1</sup>，下園 航<sup>3</sup>，肱黒 薫<sup>3</sup>，徳留 健太郎<sup>3</sup>，  
林 知美<sup>4</sup>，重田 浩一朗<sup>3</sup>

<sup>1</sup>霧島市立医師会医療センター 初期研修医，<sup>2</sup>霧島市立医師会医療センター 超音波検査室，  
<sup>3</sup>霧島市立医師会医療センター 消化器内科，<sup>4</sup>霧島市立医師会医療センター 消化器外科

#### 新003 帝王切開癒痕部に同時着床した二絨毛膜二羊膜双胎の一例

相星 景子，山口 宗影，坂田 準，近藤 英治

熊本大学大学院 生命科学研究部産科婦人科学

## 一般演題

### 循環器（腫瘍）

10:20 ～ 10:55

第1会場（大ホール・2F）

座長：永田 泰史（産業医科大学 循環器内科、腎臓内科）  
梅田 ひろみ（平成紫川会 小倉記念病院 検査技師部）

#### 一般001 三尖弁に発生した乳頭状弾性線維腫の一例

南里 享奈<sup>1</sup>，坂本 佳子<sup>2</sup>，小屋松 純司<sup>1</sup>，梅木 俊晴<sup>1</sup>，於保 恵<sup>1</sup>，鍋嶋 洋裕<sup>2</sup>，陣内 宏紀<sup>3</sup>，大枝 敏<sup>1</sup>，  
蒲原 啓司<sup>3</sup>，副島 英伸<sup>1</sup>

<sup>1</sup>佐賀大学医学部附属病院 検査部，<sup>2</sup>佐賀大学医学部附属病院 循環器内科，  
<sup>3</sup>佐賀大学医学部附属病院 心臓血管外科

#### 一般002 経胸壁心エコーガイド下カテーテル生検にて診断し得た転移性心臓腫瘍の一例

兼田 浩平<sup>1</sup>，西村 優希<sup>1</sup>，陳 文瀚<sup>1</sup>，安心院 法樹<sup>1</sup>，柿本 洋介<sup>1</sup>，大坪 豊和<sup>1</sup>，神下 耕平<sup>1</sup>，  
吉田 敬規<sup>1</sup>，山口 尊則<sup>2</sup>

<sup>1</sup>佐賀県医療センター好生館 循環器内科，<sup>2</sup>佐賀大学医学部附属病院 循環器内科



**一般003 経カテーテル的大動脈弁置換術後の経過観察中に右房で確認された炎症性肉芽腫の一例**

石隈 麻邪<sup>1</sup>, 梅木 俊晴<sup>1</sup>, 坂本 佳子<sup>2</sup>, 陣内 宏紀<sup>3</sup>, 柚木 純二<sup>3</sup>, 於保 恵<sup>1</sup>, 大枝 敏<sup>1</sup>, 蒲原 啓司<sup>3</sup>, 副島 英伸<sup>1</sup>

<sup>1</sup>佐賀大学医学部附属病院 検査部, <sup>2</sup>佐賀大学医学部附属病院 循環器内科,

<sup>3</sup>佐賀大学医学部附属病院 心臓血管外科

**一般004 急速に進行した心臓悪性リンパ腫に対して外科的摘出を行った一例**

東 隆大, 松永 光平, 尾池 史, 星山 禎, 花谷 信介, 宇宿 弘輝, 山本 英一郎, 辻田 賢一

熊本大学病院 循環器内科

**循環器（弁膜症）**

11:00 ~ 11:35

第1会場（大ホール・2F）

座長：吉牟田 剛（長崎大学病院 循環器内科）

堀添 善尚（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 心臓血管・高血圧内科学）

**一般005 妊娠経過中に stuck valve を繰り返した大動脈弁位機械弁置換術後の1症例**

井手 愛子<sup>1</sup>, 古島 早苗<sup>1</sup>, 大野 主税<sup>1</sup>, 浅田 綾子<sup>1</sup>, 川浪 のぞみ<sup>2</sup>, 吉牟田 剛<sup>3</sup>, 南 貴子<sup>3</sup>, 河野 浩章<sup>3</sup>, 三浦 崇<sup>4</sup>, 前村 浩二<sup>1,3</sup>

<sup>1</sup>長崎大学病院 超音波センター, <sup>2</sup>長崎大学病院 検査部, <sup>3</sup>長崎大学病院 循環器内科,

<sup>4</sup>長崎大学病院 心臓血管外科

**一般006 演題取り下げ**

**一般007 軽症僧帽弁狭窄症の治療方針に運動負荷心エコー図検査が有用であった1例**

梶田 智子<sup>1</sup>, 福田 智子<sup>2</sup>, 五島 みやび<sup>1</sup>, 栗田 美沙<sup>1</sup>, 小野 真弓<sup>1</sup>, 児玉 望<sup>2</sup>, 上山 由香理<sup>1</sup>, 三浦 慎和<sup>1</sup>, 手嶋 泰之<sup>1,2,3</sup>, 高橋 尚彦<sup>2</sup>

<sup>1</sup>大分大学医学部附属病院 医療技術部臨床検査部門, <sup>2</sup>大分大学医学部 循環器内科・臨床検査診断学講座,

<sup>3</sup>大分大学医学部 先進医療科学科

**一般008 ウシ心膜生体弁を用いた大動脈弁置換術施行12年後に弁尖穿孔による弁機能不全を認めた1例**

小野 悠美<sup>1</sup>, 角田 隆輔<sup>1</sup>, 堀端 洋子<sup>1</sup>, 鈴木 龍介<sup>2</sup>, 平山 亮<sup>2</sup>, 坂口 健<sup>2</sup>

<sup>1</sup>熊本赤十字病院 循環器内科, <sup>2</sup>熊本赤十字病院 心臓血管外科

**循環器（心機能、虚血）**

13:50 ~ 14:25

第1会場（大ホール・2F）

座長：西上 和宏（御幸病院 LTAC 心不全センター）

坂本 佳子（佐賀大学 保健管理センター）

**一般009 COVID-19感染を契機に心筋梗塞を発症した慢性腎不全の一例**

三角 郁夫<sup>1</sup>, 宮本 信三<sup>1</sup>, 廣田 晋一<sup>1</sup>, 福田 仁也<sup>1</sup>, 玉野井 俊介<sup>1</sup>, 佐藤 幸治<sup>2</sup>, 藤井 一彦<sup>2</sup>, 出来田 美和<sup>2</sup>, 宇宿 弘輝<sup>3</sup>, 辻田 賢一<sup>3</sup>

<sup>1</sup>熊本市立 植木病院 循環器内科, <sup>2</sup>熊本市市民病院 内科, <sup>3</sup>熊本大学 循環器内科

一般010 経胸壁心エコー検査で左冠動脈近位部病変を検出し、治療に至った無症候性心筋虚血の1例  
江崎 優貴<sup>1</sup>，渡邊 浩幸<sup>1</sup>，満瀬 亜弥<sup>1</sup>，福重 翔太<sup>1</sup>，大原 未希子<sup>1</sup>，山田 雅大<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 済生会熊本病院 中央検査部，<sup>2</sup> 済生会熊本病院 循環器内科

一般011 待合室からエコーブースへの短距離歩行で息切れを生じた場合の経胸壁心エコー図検査での取り組みについて  
河本 尚子<sup>1</sup>，高山 元揮<sup>1</sup>，中村 博史<sup>1</sup>，徳山 聡子<sup>1</sup>，手嶋 敏裕<sup>1</sup>，宇治川 好枝<sup>1</sup>，藤原 まどか<sup>2</sup>，  
長友 大輔<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 済生会福岡総合病院 生理機能検査室，<sup>2</sup> 済生会福岡総合病院 循環器内科

一般012 TTEから肺血管抵抗算出が診断・経過観察に有用であった慢性血栓性肺高血圧症 (CTEPH) の1例  
牟田 光明<sup>1</sup>，柴田 明治<sup>2</sup>，厚地 伸彦<sup>2</sup>，厚地 良彦<sup>2</sup>，波多野 将<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 社会医療法人天陽会中央病院 検査部，<sup>2</sup> 社会医療法人天陽会中央病院 循環器科，  
<sup>3</sup> 東京大学医学部附属病院 高度心不全治療センター

---

消化器（肝臓1） 13:40～14:15 第3会場（イベントホール・1F）

---

座長：本吉 康英（独立行政法人国立病院機構長崎医療センター肝臓内科）  
中野 聖士（久留米大学医学部 内科学講座 消化器内科部門）

一般013 Canon Superb-microvascular Imaging (SMI) が診断に有用であった肝血管腫の一例  
戸原 恵二<sup>1</sup>，松本 幸一<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 戸原内科 内科，<sup>2</sup> 白石共立病院 放射線科

一般014 血液疾患加療中に発症した結核性肝膿瘍の1例  
山本 健司<sup>1</sup>，吉松 眞一<sup>2</sup>，窪田 晃<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 独立行政法人 地域医療機能推進機構 熊本総合病院 検査部，  
<sup>2</sup> 独立行政法人 地域医療機能推進機構 熊本総合病院 消化器内科，  
<sup>3</sup> 独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター 血液内科

一般015 胆管細胞癌と鑑別困難であった肝反応性リンパ組織過形成 (Reactive lymphoid hyperplasia) の一例  
下門 春菜<sup>1</sup>，野間 栄次郎<sup>2</sup>，丸尾 達<sup>2</sup>，立川 勝子<sup>2</sup>，後野 徹宏<sup>2</sup>，江崎 薫<sup>2</sup>，光安 峻<sup>2</sup>，宮坂 義浩<sup>3</sup>，  
二村 聡<sup>4</sup>，吉村 雅代<sup>4</sup>  
<sup>1</sup> 福岡大学筑紫病院 臨床検査部，<sup>2</sup> 福岡大学筑紫病院 消化器内科，<sup>3</sup> 福岡大学筑紫病院 外科，  
<sup>4</sup> 福岡大学筑紫病院 病理部

一般016 脂肪肝における肝線維化の進行と生活習慣との関係について  
坂本 浩嗣，田中 昭宏，大石 浩隆，志田 知之  
医療法人 天心堂 志田病院

座長：柴田 英貴（医療法人済家会 柴田長庚堂病院）  
 榎原 哲史（熊本大学病院 生命科学研究部 消化器内科学）

**一般017 造血幹細胞移植後の肝類洞閉塞症候群に対してHokUS-10が早期治療介入の一助となった一例**

長山 亜由美<sup>1,2</sup>, 水島 靖子<sup>1,2</sup>, 大屋 周期<sup>3</sup>, 川野 祐幸<sup>1</sup>, 長藤 宏司<sup>3</sup>, 内藤 嘉紀<sup>1</sup>, 黒松 亮子<sup>2,4</sup>

<sup>1</sup>久留米大学病院 臨床検査部, <sup>2</sup>久留米大学病院 超音波診断センター,  
<sup>3</sup>久留米大学医学部 内科学講座血液・腫瘍内科部門, <sup>4</sup>久留米大学医学部 内科学講座消化器内科部門

**一般018 Superb Micro-vascular Imagingにより腸間膜静脈（門脈）内ガスを同定した1症例**

内田 莊平<sup>1</sup>, 大堂 雅晴<sup>2</sup>

<sup>1</sup>地域医療振興協会飯塚市立病院 内科, <sup>2</sup>地域医療振興協会飯塚市立病院 外科

**一般019 肝腫瘍術前症例に対する造影超音波検査のタスクシフト/シェア実践**

福島 奈央<sup>1,2</sup>, 水島 靖子<sup>1,2</sup>, 長山 亜由美<sup>1,2</sup>, 執行 智恵美<sup>1,2</sup>, 野田 夏光<sup>1,2</sup>, 川野 祐幸<sup>1</sup>, 内藤 嘉紀<sup>1</sup>,  
 黒松 亮子<sup>2,3</sup>

<sup>1</sup>久留米大学病院 臨床検査部, <sup>2</sup>久留米大学病院 超音波診断センター, <sup>3</sup>久留米大学医学部 消化器内科

**一般020 超音波検査室におけるタスクシフト／シェアの取り組み  
 ～医師の働き方改革に向けた当施設の実践～**

小平 俊一<sup>1</sup>, 仲 悠<sup>2</sup>, 小屋松 純司<sup>2</sup>, 井上 香<sup>3</sup>, 大枝 敏<sup>3</sup>, 高橋 宏和<sup>1</sup>

<sup>1</sup>佐賀大学医学部附属病院 肝臓糖尿病内分泌内科, <sup>2</sup>佐賀大学医学部附属病院 検査部,  
<sup>3</sup>佐賀大学医学部 肝疾患センター

座長：重田 浩一朗（霧島市立医師会医療センター）  
 馬場 崇徳（神埼病院）

**一般021 DPDS（主膵管破綻症候群）を疑った一例**

松本 康恵<sup>1</sup>, 叶 晶嘉<sup>2</sup>, 田中 賢一<sup>2</sup>, 於保 恵<sup>1</sup>, 大枝 敏<sup>1,2</sup>, 副島 英伸<sup>1</sup>

<sup>1</sup>佐賀大学医学部附属病院 検査部, <sup>2</sup>佐賀大学医学部附属病院 肝臓内科

**一般022 胆嚢悪性リンパ腫の1例**

堤 総子<sup>1</sup>, 倉重 康彦<sup>1</sup>, 河口 康典<sup>2</sup>

<sup>1</sup>朝倉医師会病院 臨床検査科, <sup>2</sup>朝倉医師会病院 消化器内科

**一般023 大網捻転の1例（脂肪組織病変を通じた教訓）**

福元 健<sup>1</sup>, 池田 隆太<sup>1</sup>, 橋本 隆志<sup>1</sup>, 塩屋 晋吾<sup>1</sup>, 大久保 友紀<sup>2</sup>, 林 尚美<sup>2</sup>, 佐々木 崇<sup>1</sup>, 坂口 右己<sup>1</sup>,  
 中村 克也<sup>1</sup>, 重田 浩一朗<sup>3</sup>

<sup>1</sup>霧島市立医師会医療センター 検査技術部 放射線室, <sup>2</sup>霧島市立医師会医療センター 検査技術部 臨床検査室,  
<sup>3</sup>霧島市立医師会医療センター 消化器内科

**一般024 A Novel Approach to Treating Disseminated Intra-Abdominal Cancer by Ultrasound**

Loreto Feril<sup>1</sup>, 貴田 浩志<sup>1</sup>, 遠藤 日登美<sup>1</sup>, 立花 克朗<sup>1</sup>, 近藤 隆<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 福岡大学医学部 解剖学, <sup>2</sup> 名古屋大学 低温プラズマ科学研究センター

**体表、血管、泌尿器、その他**

9:45 ~ 10:35

第4会場 (リハーサル室・1F)

座長：大原 未希子 (済生会熊本病院 中央検査部)  
吉元 和彦 (熊本赤十字病院 小児外科)

**一般025 超音波組織弾性イメージング技術を用いたアキレス腱性状評価の有用性**

高田 怜花<sup>1,2</sup>, 伊藤 美智子<sup>1</sup>, 高田 耕平<sup>1,2</sup>, 嶋田 裕史<sup>1</sup>, 小川 正浩<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 福岡大学病院 臨床検査・輸血部, <sup>2</sup> たかた内科クリニック 循環器内科

**一般026 Noninvasive follicular thyroid neoplasm with papillary-like nuclear features (NIFTP) の一例**

姫野 貴司<sup>1</sup>, 浅山 良樹<sup>1</sup>, 川野 利明<sup>2</sup>, 橋本 馨<sup>2</sup>, 吉永 和弘<sup>2</sup>, 駄阿 勉<sup>3</sup>, 西田 陽登<sup>3</sup>, 小山 雄三<sup>3</sup>

<sup>1</sup> 大分大学医学部附属病院 放射線科, <sup>2</sup> 大分大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科,

<sup>3</sup> 大分大学医学部附属病院 病理診断科・病理部

**一般027 下行膝動脈仮性瘤の一例**

上坂 浩司<sup>1</sup>, 上原 幸城<sup>1</sup>, 高原 智幸<sup>1</sup>, 川越 勝也<sup>2</sup>, 矢野 光洋<sup>2</sup>, 西野 峻<sup>3</sup>, 柴田 剛徳<sup>3</sup>

<sup>1</sup> 宮崎市郡医師会病院 心臓病センター検査科, <sup>2</sup> 宮崎市郡医師会病院 心臓病センター心臓血管外科,

<sup>3</sup> 宮崎市郡医師会病院 心臓病センター循環器内科

**一般028 精巣輸出管の拡張を認めた男性不妊症患者の精路超音波像**

成吉 昌一

MRしょうクリニック 検査室

**一般029 エコーで“繋がり”、LINEで“つながる”。～研修医・若手医師への超音波教育とその先にあるもの～**

塩屋 晋吾<sup>1</sup>, 重田 浩一朗<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 霧島市立医師会医療センター 超音波検査室, <sup>2</sup> 霧島市立医師会医療センター 消化器内科

**一般030 超音波検査がチーム医療に今以上に必要とされその存在意義を上げる1方法 (第21報)**

島ノ江 信芳

(株)コ・メディカル 代表

座長：桂木 真司（宮崎大学医学部附属病院 産婦人科）  
上妻 友隆（国立病院機構佐賀病院 産婦人科）

#### 一般031 10mm以下で発見された悪性葉状腫瘍の一例

徳永 純香<sup>1</sup>, 田中 喜久<sup>2</sup>, 馬場 美樹<sup>2</sup>, 大西 希江<sup>1</sup>, 原 祥子<sup>3</sup>, 西田 直代<sup>4</sup>, 古賀 伸彦<sup>5</sup>

<sup>1</sup>社会医療法人天神会 新古賀病院 臨床検査課, <sup>2</sup>社会医療法人天神会 新古賀病院 乳腺外科,

<sup>3</sup>社会医療法人天神会 新古賀病院 診療放射線課, <sup>4</sup>社会医療法人天神会 新古賀病院 病理科,

<sup>5</sup>社会医療法人天神会 新古賀病院 総合内科

#### 一般032 乳頭部腫瘤を契機に発見された多発性骨髄腫の一例

多久島 新, 松本 慎吾

佐賀県医療センター好生館 検査部

#### 一般033 乳癌術後に発症した乳腺原発悪性リンパ腫の2症例

辻本 絵理<sup>1</sup>, 宗 麻衣<sup>1</sup>, 井上 有紗<sup>1</sup>, 横田 智聡<sup>1</sup>, 小川 明希<sup>1</sup>, 村田 眞知子<sup>1</sup>, 秋光 起久子<sup>1</sup>,  
田中 隆一<sup>1</sup>, 櫻井 早也佳<sup>2</sup>, 梅田 修洋<sup>2</sup>

<sup>1</sup>独立行政法人地域医療機能推進機構九州病院 中央検査室,

<sup>2</sup>独立行政法人地域医療機能推進機構九州病院 乳腺外科

#### 一般034 胎児期に共通肺静脈様構造を認めたが、出生後に正常肺静脈構造と判明した一例

坂田 準<sup>1</sup>, 山口 宗影<sup>1</sup>, 宮村 文弥<sup>2</sup>, 蔵本 昭孝<sup>3</sup>, 河上 華夏<sup>1</sup>, 近藤 英治<sup>1</sup>

<sup>1</sup>熊本大学大学院生命科学研究部 産科婦人科学講座, <sup>2</sup>熊本大学大学院生命科学研究部 小児科学講座,

<sup>3</sup>福田病院 産科

#### 一般035 出生前診断した骨系統疾患の1例

上妻 友隆, 島内 明子, 片岡 亮, 伊波 勇裕, 小畑 実加, 下村 峻司, 山崎 温詞, 池田 正純, 大島 侑子,  
津村 圭介

独立行政法人国立病院機構佐賀病院 産婦人科

座長：岩瀧 麻衣（産業医科大学 第2内科学）  
當間 裕一郎（琉球大学病院 第3内科）

#### 一般036 ECPella 管理下における劇症型心筋炎のTTE経時的変化

加藤 沙織<sup>1</sup>, 岩下 飛翔<sup>1</sup>, 坂本 淳<sup>1</sup>, 山口 清正<sup>1</sup>, 小倉 龍之介<sup>1</sup>, 兼崎 太輔<sup>1</sup>, 山崎 卓<sup>1</sup>, 小出 俊一<sup>2</sup>,  
堀端 洋子<sup>2</sup>, 角田 隆輔<sup>2</sup>

<sup>1</sup>熊本赤十字病院 検査部, <sup>2</sup>熊本赤十字病院 循環器内科

#### 一般037 経胸壁心エコー図で両室型不整脈源性心筋症が疑われた1例

阿部 光千香<sup>1</sup>, 浪崎 秀洋<sup>1</sup>, 中園 朱実<sup>1</sup>, 岩瀧 麻衣<sup>2</sup>, 永田 泰史<sup>2</sup>, 尾上 武志<sup>2</sup>, 尾辻 豊<sup>3</sup>,  
片岡 雅晴<sup>2</sup>, 山口 絢子<sup>1</sup>

<sup>1</sup>産業医科大学病院 臨床検査・輸血部, <sup>2</sup>産業医科大学 第2内科学, <sup>3</sup>萩原中央病院 循環器・心臓内科

**一般038 閉塞性肥大型心筋症に対する左室形成術における術前・術後の心エコー図所見**

高橋 美江<sup>1</sup>, 當間 裕一郎<sup>1,2</sup>, 古川 浩二郎<sup>3</sup>, 稲福 齊<sup>3</sup>, 前田 達也<sup>3</sup>, 新崎 翔吾<sup>3</sup>, 川満 洋子<sup>1</sup>, 郡島 萌<sup>1</sup>, 楠瀬 賢也<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>琉球大学病院 超音波センター, <sup>2</sup>琉球大学病院 第三内科, <sup>3</sup>琉球大学病院 第二外科

**一般039 手術時期の判断に苦慮した感染性心内膜炎の一症例**

彌富(八並) 由樹<sup>1</sup>, 嘉村 朋顕<sup>1</sup>, 新地 まろか<sup>1</sup>, 古川 陽介<sup>1</sup>, 園田 信成<sup>1</sup>, 松崎 英理子<sup>2</sup>, 峯 悠太郎<sup>2</sup>, 成村 和子<sup>2</sup>

<sup>1</sup>唐津赤十字病院 循環器内科, <sup>2</sup>唐津赤十字病院 生理検査室

**循環器（先天、その他）**

14:20 ~ 14:55

第4会場（リハーサル室・1F）

座長：田代 英樹（社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 循環器内科）

安田 久代（鹿児島市立病院 循環器内科）

**一般040 健診での心電図異常を契機にEbstein奇形様形態異常が判明した一症例**

津守 容子<sup>1</sup>, 鬼塚 久充<sup>1</sup>, 渡邊 玲子<sup>1</sup>, 松尾 剛志<sup>1</sup>, 清 真由美<sup>2</sup>, 山本 紗子<sup>3</sup>, 海北 幸一<sup>3</sup>, 渡邊 望<sup>4</sup>, 田中 美与<sup>5</sup>

<sup>1</sup>独立行政法人地域医療機能推進機構 宮崎江南病院 循環器内科, <sup>2</sup>独立行政法人地域医療機能推進機構 検査科, <sup>3</sup>宮崎大学医学部 内科学講座 循環器腎臓内科学分野, <sup>4</sup>宮崎大学 機能制御学講座 循環動態生理学分野, <sup>5</sup>宮崎大学附属病院 ハートセンター

**一般041 潜因性脳梗塞の鑑別に経胸壁・経食道心エコー図検査によるValsalva負荷Microbubble testが有用であった1例**

峰松 優季<sup>1</sup>, 福山 野乃華<sup>2</sup>, 平井 元子<sup>1</sup>, 坂本 佳子<sup>1</sup>, 鍋嶋 洋裕<sup>1</sup>, 坂井 ひかり<sup>1</sup>, 梅木 俊晴<sup>3</sup>, 秋吉 妙美<sup>4</sup>, 小屋松 純司<sup>3</sup>, 野出 孝一<sup>1</sup>

<sup>1</sup>佐賀大学医学部附属病院 循環器内科, <sup>2</sup>佐賀大学医学部附属病院 脳神経内科, <sup>3</sup>佐賀大学医学部附属病院 検査部, <sup>4</sup>佐賀大学医学部附属病院 ハートセンター

**一般042 体位変換で増悪する低酸素血症の治療に心エコーが有用であった1例**

満瀬 亜弥<sup>1</sup>, 前田 美歌<sup>2</sup>, 寺園 結貴<sup>1</sup>, 山本 多美<sup>1</sup>, 尾形 裕理<sup>1</sup>, 福重 翔太<sup>1</sup>, 大原 未希子<sup>1</sup>, 山田 雅大<sup>2</sup>

<sup>1</sup>済生会熊本病院 中央検査部, <sup>2</sup>済生会熊本病院 心臓血管センター 循環器内科

**一般043 心エコー図検査遠隔指導システムを用いた検査標準化への取り組み**

宇宿 弘輝<sup>1,2</sup>, 山田 敏寛<sup>3</sup>, 尾池 史<sup>2</sup>, 藤末 昂一郎<sup>3</sup>, 辻田 賢一<sup>2</sup>

<sup>1</sup>熊本大学病院 中央検査部, <sup>2</sup>熊本大学大学院生命科学研究部 循環器内科, <sup>3</sup>阿蘇医療センター 循環器内科

座長：松本 慎吾（地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館）  
 嶋田 靖人（医療法人松籟会河畔病院 / 福岡メディカルサポート）

**一般044 GISTとの鑑別が困難であった胃神経鞘腫の一例**

中村 咲和<sup>1</sup>，上野 真一郎<sup>1</sup>，藤元 静太郎<sup>2</sup>，寺田 朋<sup>3</sup>，篠原 宏樹<sup>3</sup>，清澤 大裕<sup>4</sup>，東 美菜子<sup>5</sup>

<sup>1</sup>藤元総合病院 放射線科，<sup>2</sup>藤元総合病院 外科，<sup>3</sup>藤元総合病院 消化器内科，  
<sup>4</sup>九州大学大学院医学研究院 形態機能病理，<sup>5</sup>宮崎大学医学部 病態解析医学講座放射線医学

**一般045 カラードプラ検査にて 豊富な血流を認めた Watermelon stomach (GAVE) の2例**

伊集院 裕康<sup>1</sup>，谷口 鎌一郎<sup>1</sup>，上野 雄一<sup>1</sup>，小園 雅哉<sup>1</sup>，厚地 伸彦<sup>2</sup>

<sup>1</sup>天陽会中央病院 消化器内科，<sup>2</sup>天陽会中央病院 循環器内科

**一般046 横行結腸に局限した小児IgA血管炎の1例**

池田 隆太<sup>1</sup>，塩屋 晋吾<sup>1</sup>，橋本 隆志<sup>1</sup>，福元 健<sup>1</sup>，大久保 友紀<sup>2</sup>，林 尚美<sup>2</sup>，佐々木 崇<sup>1</sup>，坂口 右己<sup>1</sup>，  
 中村 克也<sup>1</sup>，重田 浩一郎<sup>3</sup>

<sup>1</sup>霧島市立医師会医療センター 検査技術部 放射線室，<sup>2</sup>霧島市立医師会医療センター 検査技術部 臨床検査室，  
<sup>3</sup>霧島市立医師会医療センター 消化器内科

**一般047 先進部に若年性ポリープを認めた小児結腸－結腸型腸重積の1例**

橋本 隆志<sup>1</sup>，大久保 友紀<sup>1</sup>，林 尚美<sup>1</sup>，池田 隆太<sup>1</sup>，福元 健<sup>1</sup>，塩屋 晋吾<sup>1</sup>，佐々木 崇<sup>1</sup>，坂口 右己<sup>1</sup>，  
 中村 克也<sup>1</sup>，重田 浩一郎<sup>2</sup>

<sup>1</sup>霧島市立医師会医療センター 超音波検査室，<sup>2</sup>霧島市立医師会医療センター 消化器内科

**一般048 骨盤内腫瘤に対する原発臓器評価に超音波検査が有用であった巨大LAMNの1例**

林 尚美<sup>1</sup>，塩屋 晋吾<sup>2</sup>，橋本 隆志<sup>2</sup>，福元 健<sup>2</sup>，池田 希<sup>1</sup>，大久保 友紀<sup>1</sup>，佐々木 崇<sup>2</sup>，坂口 右己<sup>2</sup>，  
 中村 克也<sup>2</sup>，重田 浩一郎<sup>3</sup>

<sup>1</sup>霧島市立医師会医療センター 臨床検査室，<sup>2</sup>霧島市立医師会医療センター 放射線室，  
<sup>3</sup>霧島市立医師会医療センター 消化器内科



## Young Investigator's Award (YIA) エントリーについて

### **名称**

本賞は、Young Investigator's Award と称する。

### **対象**

発表当日 40 歳以下の筆頭発表者とする。

### **応募内容**

- ① 日本超音波医学会九州地方会 YIA は循環器・腹部・体表及び総合の 3 部門とする。他部門の発表演題数が増加した場合、YIA 部門の増設を検討する。
- ② 演題応募の際に YIA(部門)を明記すること。但し、一つの施設からの応募は 1 演題に限定する。

### **選考**

- ① 応募演題を 5 名の査読者が 10 段階で評価(10 が最優秀)、上位 3 演題を候補演題として(ア)採択する。  
(イ) なお、不採択演題は一般演題とする。5 名の査読者は、過去の座長などを参考に会長が選ぶ、10 段階評価で 6 段階以上(平均)の演題がないときは、該当なしとする。
- ② 日本超音波医学会九州地方会の午前中に各部門約 30 分または 40 分かけて、それぞれの部門の YIA 発表及び質疑応答を行う。
- ③ 5 名の審査委員の 1 名が座長となり、残りの審査委員 4 名も質疑応答に加わり、この合計 5 名が演題発表を 10 段階に評価する。
- ④ YIA 発表終了後、5 名の審査委員は別室に集合し、評価点数の集計を行い、最高得点取得者 1 名を決定し最優秀賞とする。

### **表彰**

- ① 審査結果は、午後の総会の時に発表し表彰する。
- ② 最優秀賞には記念品・副賞(金 5 万円)を贈呈する。

### **附則**

平成 16 年 9 月 19 日制定

平成 27 年 9 月 27 日改正



## 公益社団法人日本超音波医学会新人賞選考内規

- 1 目的・意義  
新人の医師ならびに工学研究者を対象に、超音波医学に興味と関心を持つ機会を積極的に提供することにより、将来的に超音波医学の臨床ならびに基礎的研究の中心的役割を担う可能性のある有望な人材を発掘することが目的である。  
なお、本事業は5年間の経過措置として行い、有効性が認められた場合には継続して行う。
- 2 名称  
本賞は、公益社団法人日本超音波医学会新人賞(以下「新人賞」という)と称する。
- 3 対象  
本賞は、各地方会学術集会において新人賞(公募)に応募し口頭発表された演題とし、症例報告、臨床研究、基礎研究いずれも可とする。
- 4 応募資格
  - 一 本学会正会員、あるいは正会員になり得る資格を有すること。ただし、受賞候補者として選考された後、受賞の条件として入会を求める。応募は1人1演題とする。
  - 二 医学系は学生又は学部卒業後5年以内、工学系は学生、大学院生又は大学院修士課程修了後5年以内とする(当該地方会での発表時点)。学生の場合は学生証、卒業の場合は卒業年度などを証明する文書の添付を求める。
  - 三 既受賞者は除く。
- 5 新人賞選考委員会
  - 一 各地方会運営委員長は、新人賞選考委員会(以下「選考委員会」という。)を各地方会に組織する。選考委員は、各地方会運営委員会で選ばれた、各領域(基礎・総合・循環器・消化器・体表・泌尿器・産婦人科・血管)の超音波専門医ならびに超音波工学フェローを含む複数の選考委員により構成される。
  - 二 各地方会運営委員会は地方会学術集会の開催時に新人賞応募演題の公募を行う。公募に際しては、各地方の医育機関や関連学会地方会などに積極的に広報し、より多数の応募者を集めるよう努める。
- 6 選考
  - 一 各地方会における選考委員会は地方会学術集会での発表に対して採点を行い、最高得点取得者1名を新人賞受賞候補者として選ぶ。(同一年に地方会を複数回開催した場合においても、各年につき1名を選出する)ただし、選考対象者と直接利害関係を有する委員は選考に加わらない。
  - 二 新人賞受賞候補者に対して各地方会事務局が受賞の意思および日本超音波医学会への入会などの所定の手続きを終えたことを確認し、領域別の新人賞応募演題数などと共に学会事務局に届け出る。  
なお、受賞を希望しない場合には、点数順に次点を繰り上げる。
  - 三 顕彰委員会は、選考委員会より提出された新人賞候補の中から新人賞を決定する。
- 7 表彰
  - 一 受賞者は受賞該当地方会学術集会後、直近に開催される日本超音波医学会学術集会において学術発表を行い、理事長が表彰する。
  - 二 受賞者には賞状・副賞および日本超音波医学会学術集会参加のための交通費を贈呈する。
  - 三 受賞者本人の学術集会参加費を免除する。
  - 四 止むを得ない理由により受賞者が学術集会に参加できない場合には、必ず代理人が学術発表を行う。  
ただし、受賞者が自ら発表しなかった場合には交通費は支給しない。
  - 五 新人賞受賞者名、該当演題名などを本会ウェブサイト等に掲載する。
- 8 改廃  
この内規の改廃は、顕彰委員会、学術集会委員会あるいは地方会委員会の発議により規約担当理事の議を経て、理事会の承認を得なければならない。

### 附 則

- 1 この内規は、平成23年6月24日から施行する。
- 2 この内規の改正は、平成24年3月30日から施行する。
- 3 この内規の改正は、平成24年12月21日から施行する。
- 4 この内規の改正は、平成25年4月1日から施行する。
- 5 この内規の改正は、平成25年4月19日から施行する。
- 6 この内規の改正は、平成25年11月29日から施行する。
- 7 この内規の改正は、平成26年8月8日から施行する。
- 8 この内規の改正は、平成27年11月27日から施行する。
- 9 この内規の改正は、平成28年4月1日から施行する。
- 10 この内規の改正は、平成28年11月25日から施行する。
- 11 本事業は5年間の経過措置として行った結果、有効誠意が認められたため継続して行うこととする。
- 12 この内規の改正は、令和2年10月30日から施行する。
- 13 この内規の改正は、令和3年8月20日から施行する。

## Image of the Year Award for Sonographers エントリーについて

### 名称

本賞は、Image of the Year Award for Sonographers と称する。

### 対象

日本超音波医学会が認定している検査士とする。

### 応募内容

- ① 超音波に関連する症例報告や基礎研究の画像、研究段階の画像で「これは！」と思うような印象に残る画像を募集する。
- ② 領域は、心臓、腹部、体表など多岐にわたり、血管内エコー、3D エコーなども含めたインパクトのあるエコー画像（動画も可）を募集する。  
なお、発表の結論スライドで、最もアピールしたい画像（動画静止画含む、複数枚可、発表の途中で提示したものを再度提示することも可）を提示する。

### 選考

- ① 提示されるエコー画像の珍しさ、美しさなど純粋に image そのものを評価する。
- ② 5名の審査委員（超音波検査士3名、医師2名）により審査を行い、採点は10段階で評価（10が最優秀）平均点の上位2名を決定する。

### 表彰

- ① 審査結果は、午後の総会の時に発表し表彰する。
- ② 最優秀賞1名には記念品・副賞（金3万円）、優秀賞1名には記念品・副賞（金2万円）を贈呈する。

### 附則

平成23年11月2日制定

平成27年9月27日改正

令和2年10月4日改正